



東広島で活躍中の地域活動団体を
のぞいてみよう！

東広島市原爆被爆資料保存推進協議会



子どもと若者の成長を支える平和の学びの場

東広島市原爆被爆資料保存推進協議会は、1986年設立以来、原爆や戦争の歴史を次世代にわかりやすく伝える活動を続けています。資料の保存・展示、伝承講話、平和学習バス、子ども向け展示づくりなど、被爆資料の活用を通して幅広い平和学習に取り組んでいます。



自ら考え、学びを深める
平和体験の場づくり

子どもたちや若い世代が平和に関する体験を通して多様な考えに触れ、自信や気づきを育める「成長を支える場」を目指しています。特定の考えを押し付けるのではなく、一人ひとりが「平和をつくる力」を育む関わりを大切にしています。

平和イベントや展示室では、戦争や被爆の恐ろしさだけを強調するのではなく、まず「知る」ことを大切にし、気軽に訪れることができる場づくりに取り組んでいます。親子での参加も歓迎しており、どなたでも安心して学べる機会を提供しています。

平和を学ぶさまざまな取り組み

平和学習バスでは、賀茂高校の生徒がガイド役として参加し、各校の代表児童・生徒を広島平和記念公園の碑巡りや資料館見学、被爆体験講話へと引率し、平和の大切さを「現地で学ぶ」機会を提供しています。

毎年8月1日～7日には原爆展“Peace Week”を開催し、テーマに沿った企画展示のほか、講話会、ワークショップ、映画会など多彩なイベントを通して、多世代が平和について考える場を広げています。

2025年度に市内全小中学生へ配布した「平和パスポート」は、平和関連イベントを紹介し、子どもたちが主体的に平和へ関わるきっかけとなる取り組みです。来年度以降も、成長を支える場として継続していく予定です。さらに、常設展示を行っており、2022年のリニューアル以降は、子どもにもわかりやすく、入りやすい展示づくりを目指して取り組んでいます。展示では、被爆後に多くの方が東広島に逃れてきた事実や、当地から救援に向かった人々の歴史も伝えています。

活動を積み重ねる中で自信を身につけていけるような、一人一人の成長を促す環境のひとつでありたいと思い活動しています。

今後の活動について

若い世代の「こんな活動がしたい」という声に背中を押され、その思いを形にできる環境を整えるため、2023年に団体内にユースサークルを発足しました。今後は、市内の小学生から大学生までを対象とした「東広島ユースピースボランティア（仮称）」構想を進めており、市民団体と連携して養成を行い、イベント企画への参加や、興味に応じた年間活動をサポートする仕組みづくりを目指しています。また、ホームページの立ち上げを計画しており、将来的にはウェブ展示室の公開も視野に入れていきます。さらに、子ども向けに「平和学習ハンドブック 東広島版」の作成にも取り組んでいく予定です。

東広島市原爆被爆資料展示室



展示はいつでもご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。
毎週金曜14～16時には、展示内容についてご説明できるスタッフが常駐しています。

団体プロフィール

- 団体名 東広島市原爆被爆資料保存推進協議会
- 設立 1986年
- 活動人数 20名（ユース含む）
- 活動拠点 東広島市原爆被爆資料展示室（市民文化センター2階）
- 主な活動 平和学習バス、原爆展“Peace Week”、原資協ユースサークルによるイベント、平和学習支援、外国人へのアプローチ ほか

東広島市原爆被爆資料展示室

場所

東広島市西条西本町28番6号
東広島市市民文化センター2階

時間

平日 10：00～20：00
休日 10：00～18：00

※金曜日14時～16時スタッフ常駐